

4.0mm厚

OT4402



パイン

ラスティックな木目がナチュラルな空間を演出する
パイン柄です。

標準価格（税別）
8,800 円 / m²
20,540円 / ケース（ケース売）
1ケース = 14枚入（約2.33m²）
サイズ 166.7×1000×4.0mm Made in Japan

防炎 帯電防止 ワックスフリー R目地仕上 耐次亜塩素酸 グリーン購入法適応商品



OT4401



OT4402



OT4403



ハイランドオーク

クラックや節が特長の古材を再現したオーク柄です。

標準価格（税別）
8,800 円 / m²
20,540円 / ケース（ケース売）
1ケース = 14枚入（約2.33m²）
サイズ 166.7×1000×4.0mm Made in Japan

防炎 帯電防止 ワックスフリー R目地仕上 耐次亜塩素酸 グリーン購入法適応商品



OT4403



OT4404

［接着剤］（モルタル下地）ピールアップ工法：GT （OA フロア下地）ピールアップ工法：GT・GTS　取扱上のご注意は必ず巻末をご確認ください。 ■タイルごとに自然な色変化や濃淡差があります。



チョークドオーク

チョークド加工特有の味わいをいかした、
自然で貼り映えのするオーク柄です。

標準価格（税別）
8,800 円 / m²
20,540円 / ケース（ケース売）
1ケース = 14枚入（約2.33m²）
サイズ 166.7×1000×4.0mm Made in Japan

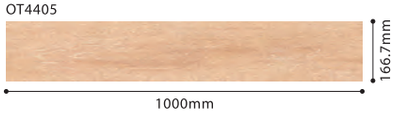
防炎 帯電防止 ワックスフリー R目地仕上 耐次亜塩素酸 グリーン購入法適応商品



OT4405



OT4406





ウォルナット

上質感のあるベーシックなウォルナット柄です。

標準価格（税別）
8,800 円 / m²
20,540円 / ケース（ケース売）
1ケース = 14枚入（約2.33m²）
サイズ 166.7×1000×4.0mm Made in Japan

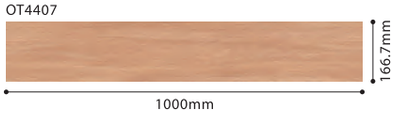
防炎 帯電防止 ワックスフリー R目地仕上 耐次亜塩素酸 グリーン購入法適応商品



OT4407



OT4408



4.0mm厚



コンクリートC

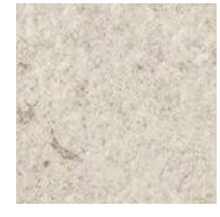
ザラッとした質感を表現したベーシックな
モルタル柄です。

標準価格（税別）

8,800 円 / m^2

2,200円 / 枚（枚売可）
1ケース = 12枚入（約3.0m^2）
サイズ 500×500×4.0mm
Made in Japan

防炎　帯電防止　ワックスフリー　面取りなし　耐次亜塩素酸　グリーン購入法適応商品


OT4409


OT4410


OT4411



［接着剤］（モルタル下地）ピールアップ工法：GT　（OA フロア下地）ピールアップ工法：GT・GTS　取扱上のご注意は必ず巻末をご確認ください。　■タイルごとに自然な色変化や濃淡差があります。



OT4416　OT4417

ウジェーヌ

デザイン貼りにも適した無地系多配色のタイルです。

標準価格（税別）

8,800 円 / m^2

2,200円 / 枚（枚売可）
1ケース = 12枚入（約3.0m^2）
サイズ 500×500×4.0mm
Made in Japan

防炎　帯電防止　ワックスフリー　面取りなし　耐次亜塩素酸　グリーン購入法適応商品

OT4412



OT4416



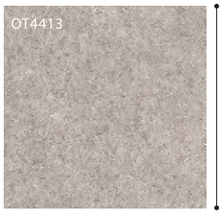
OT4413



OT4417



OT4414





OT4415

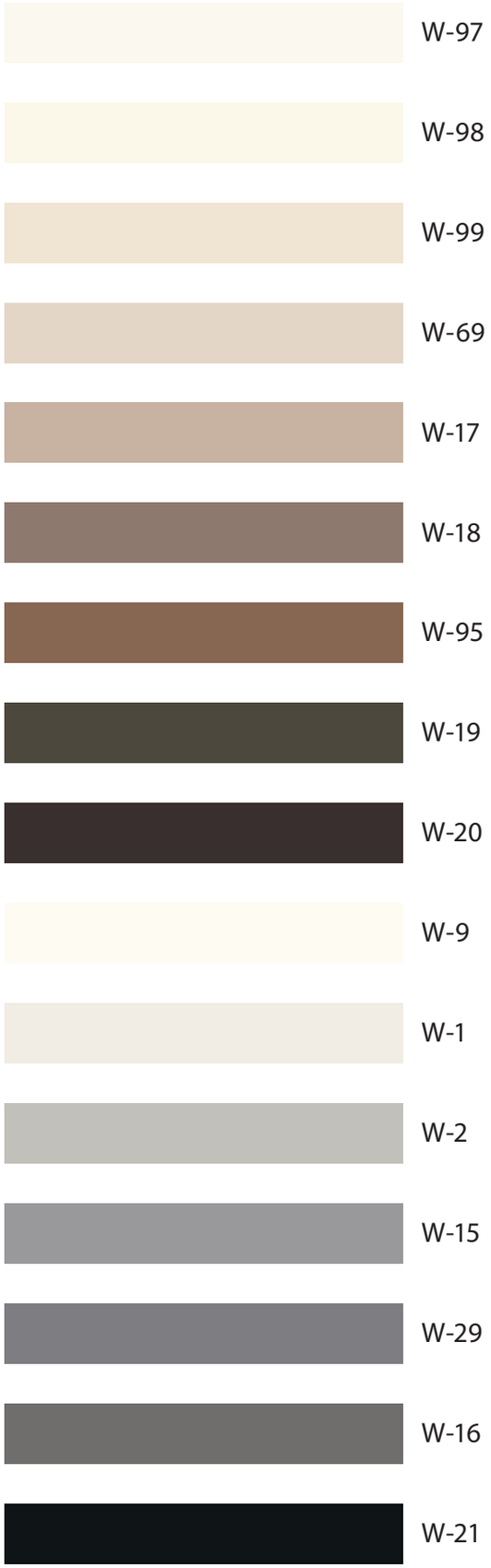
カラー巾木 防汚性能付

品番	高さ40mm	高さ60mm		高さ75mm		高さ100mm	
	R アリ	R アリ	R ナシ	R アリ	R ナシ	R アリ	R ナシ
W-1	20	20 25	20	20	20	20	20
W-2	20	20 25	20	20	20	20	20
W-9	20 25	20 25	20	20 50	20	20 50	20
W-15	20	20 50	20	20 50		20 50	
W-16		20	20	20	20	20	20
W-17	20	20 50	20	20 50	20	20	
W-18	20	20 50	20	20 50		20	
W-19	20	20 50	20	20 50	20	20 50	20
W-20	20	20 50	20	20 50	20	20 50	
W-21	20	20	20	20	20	20	20
W-29		20 50	20	20 50		20 50	
W-69	20 25	20 25	20	20	20	20	20
W-95	20	20 50	20	20		20	
W-97	20 25	20 50	20	20 50	20	20 50	20
W-98	20	20 50	20	20 50	20	20 50	20
W-99	20	20 50	20				

※在庫のない仕様に関しては受注生産が可能です。受注条件など詳細は別途お問い合わせください。

		標準価格（税別）
20 長さ 915mm 1ケース 20枚入	高さ 40mm	5,400円／ケース
	高さ 60mm	5,800円／ケース
	高さ 75mm	6,200円／ケース
	高さ 100mm	6,900円／ケース
25 25m巻	高さ 40mm	5,700円／巻
	高さ 60mm	7,900円／巻
50 50m巻	高さ 60mm	15,700円／巻
	高さ 75mm	16,900円／巻
	高さ 100mm	18,600円／巻

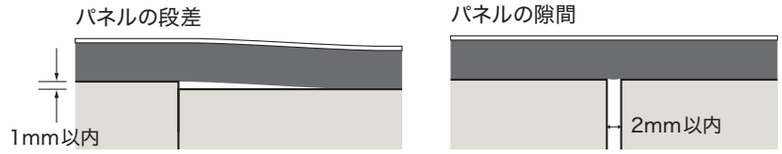
※ご注文の際は必ず品番・種類・サイズをご指定のうえ、ケースまたは巻単位でお願いします。
※巾木は全て日本製です。取扱上のご注意は必ず巻末をご確認ください。



OAフロア下地への置敷き施工方法

※取扱上のご注意もあわせてご参照ください。

1 下地の確認



下地パネルの段差は1mm以内・隙間は2mm以内に調整し、下地パネルがしっかりと固定されて動かないこと、たわまないことを確認してください。パネルの表面は凹凸の無いものを使用してください。
下地パネルの種類や表面形状によってはOTの施工に適さない場合があります。

下地OAフロアに関して

- 固定式ではないOAフロアの場合、下地パネル自体が歩行や温度変化で動く場合があります。
- 下地が動くことでタイルの突き上げや反り、目地隙やズレに繋がる場合があります。
- 表面形状がフラットではなく凹凸があり、またメッシュ形状になっているなど、OTと接する面積が少ないOAフロアの場合、接着力が不足し接着不良に繋がる場合があります。
- OAフロアの表面形状によってはタイル表面に陰影が浮き出る場合があります。

2 接着剤の塗布

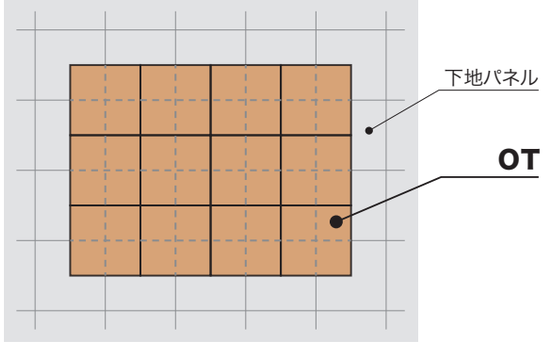
GTもしくはGTSをスポンジローラー（中毛タイプ）を使用して下地パネル全面に塗布してください。
接着剤が透明になるまでオープンタイムをとってください。塗布量の目安は40g／m²～80g／m²です。
塗布量が少ないと施工後に突き上げや目地隙の原因となります。
下地の吸水性や表面形状、歩行頻度に応じて塗布量を増やすなど調整してください。

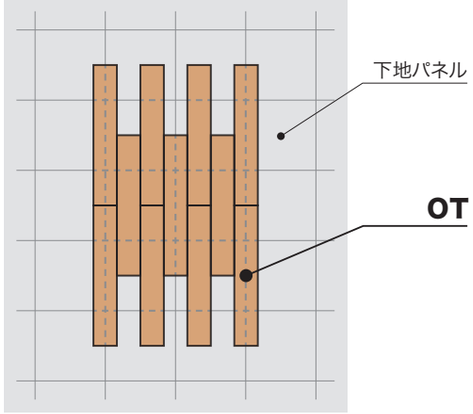
【OT推奨副資材のご紹介】

接着剤などについては、こちらの二次元コードよりベンリダイン見本帳をご参照ください。

3 貼り付け

下地パネルとOTの目地が合わないよう、1／2ずらし施工（馬がけ施工）を行ってください。
室温にタイルをなじませてから、低温時は ゆるめ に貼り付けてください。
タイルの詰めすぎは突き上げの原因になりますのでお避けください。
15℃以下での施工の場合、同梱のスペーサー（厚み0.2mm）を切り取って使用してください。
目地の幅が等間隔となり、施工中のズレの防止にも役立ちます。





4 圧着

ポンドローラー等での圧着前にスペーサーを取り外してください。

OTのメンテナンス

WF WAX FREE ワックスフリーコーティング

ワックスを使用しないメンテナンスが可能です。
施設利用者や運営者に加え、環境にも負荷が少ない
理想的な床材です。

初期メンテナンス

使用前

- 引渡し前に付着した汚れを清掃、洗浄し、乾燥させてください。
  ※洗浄の際、目の粗いパッドを使用すると表面のコーティングが摩耗する場合があります。

日常メンテナンス

毎日 予防清掃

- 床材上の土砂が歩行で引きずられることで、床材にキズが入ります。
  出入り口へのフロアマットの設置により、土砂の持ち込みと拡散を防ぎます。
  マットはこまめに除塵、交換してください。

毎日 日常清掃

- ダスタークロスや掃除機でチリや埃を除去した後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- ヒールマークなどの落ちにくい汚れは、水または洗浄剤を含ませたモップやウエスなどで
  拭き取ってください。
- 状況に応じ自動床洗浄機などで洗浄を行ってください。
  ※洗浄の際、目の粗いパッドを使用すると表面のコーティングが摩耗する場合があります。

特にご注意ください

タイルの目地から水、洗浄液、ワックス、剥離剤がタイル裏面に入り込まないようご注意ください。
接着剤を無力化させ突き上げや反りなどの不具合、二重床の場合は配線やOA機材の不具合が発生する恐れがあります。
モップに染み込ませる量を調整するなどご注意ください。

光沢や汚れの状況に応じてワックスメンテナンスに切り替えてください。
帯電防止床材用ワックスをおすすめします。
ワックスメンテナンスへの切り替え後は一般的なビニル系床材と同じメンテナンス(P.32)を行ってください。

〈注意事項〉 床材やご使用用途・目的に応じた洗浄剤やワックス、剥離剤、パッドをお選びください。
また洗浄剤やワックス、剥離剤、パッドは製造元が推奨する使用方法を必ずご確認のうえ、ご使用ください。

一般的なビニル系床材のメンテナンス

歩行量や汚れの段階に応じた計画的なメンテナンスにより
床材の耐用年数を延ばすことができます。

初期メンテナンス

使用前

- 引渡し前に付着した汚れを清掃、洗浄し、乾燥させてください。
- 乾燥後、ワックスを塗布します。

※塗布回数は歩行頻度やご使用用途によりますが、2〜3回を推奨します。

日常メンテナンス

毎日 予防清掃

- 床材上の土砂が歩行で引きずられることで、床材にキズが入ります。
  出入り口へのフロアマットの設置により、土砂の持ち込みと拡散を防ぎます。
  マットはこまめに除塵、交換してください。

毎日 日常清掃

- ダスタークロスや掃除機でチリや埃を除去した後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- ヒールマークなどの落ちにくい汚れは、水または洗浄剤を含ませたモップやウエスなどで
  拭き取ってください。
- 状況に応じ自動床洗浄機などで洗浄を行ってください。

定期メンテナンス

1〜3カ月に1回

- 日常清掃では除去できない堆積した汚れを、ポリッシャーや自動床洗浄機を使って洗浄します。
- 洗浄後、ワックスを1〜2回塗布し新しい皮膜を形成します。

特別メンテナンス

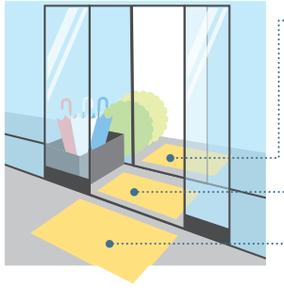
1〜2年に1回

- 定期メンテナンスで汚れが取りきれなくなったら行います。
- 剥離剤を用い、ポリッシャーでワックスを剥離します。
- 汚水回収後、自動床洗浄機やモップを使用し、水ですすぎを行います。
- 洗浄後、ワックスを2〜3回塗布し新しい皮膜を形成します。

フロアマットについて

予防清掃

施設内の汚れの80%は外から運び込まれます。靴底に付着した泥・砂などが施設内に持ち込まれ、
汚れが拡散します。このため、施設まわりの日常清掃も大切です。
エントランスには以下の**3段階のマット設置が汚れの持ち込み防止に効果を発揮**します。



1. まず玄関の外に雨・風耐用型のマットを置き、外からの泥・砂などをふるい落とします。
2. 次に風除室内に雨の日の水分まで吸着するマットを敷きます。
3. 最後に施設内に汚れ・埃・水分吸着用マットを敷きます。

来訪者が施設内に入るまでに、外からの泥・砂を自然に歩いて落とすには、**約6mの除塵スペースが必要**であると
言われています。なるべく広範囲にわたってフロアマットを設置することが、施設内部への汚れの持ち込みを防ぎます。

※マットが汚れて泥・砂が飽和状態のまま放置すると逆にマットの汚れが内部に入ってきますので、マットは常に清掃してください。
毎日のバキューミングと月1回の水洗いをおすすめします。

〈注意事項〉 床材やご使用用途・目的に応じた洗浄剤やワックス、剥離剤、パッドをお選びください。
また洗浄剤やワックス、剥離剤、パッドは製造元が推奨する使用方法を必ずご確認のうえ、ご使用ください。

取扱上のご注意

選択上のご注意

- フロアタイルの耐久性能は歩行量、使用環境によって異なります。ご選定の際は製品の耐久性以上の用途でのご使用はお避けください。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認ください。
- 下地からの湿気の上昇や、摩擦熱、火花の飛び散りが予想される場所ではご使用をお避けください。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。またエンボスが深い、あるいは細かいほど汚れが残りやすくなりますのでお含みおきください。
- 濃色系やフラットな表面形状はキズが目立ちやすくなりますのでお含みおきください。
- 意匠上、タイルごとに色変化や濃淡差がある商品は、狭小空間に施工した場合、色や濃淡の差が強く見える場合があります。
- 家具の下などの暗所、密閉されるような環境、高温多湿、酸性ガス（NOx、SOx）などの条件が揃うと床材が変色する場合があります。これらの条件が揃わないようご注意ください。やむを得ずそのような箇所に施工する際は暗色系の床材をご選定ください。

運搬ならびに保管上のご注意

- 重量物ですので取り扱いには十分ご注意ください。落下や乱暴な取り扱いはフロアタイルの破損だけでなく、傷害や器物破損などを招く場合があります。
- フロアタイルは梱包を解かずに平坦な場所に保管してください。積載は高さ70cmを限度とします。積み過ぎ、長時間にわたる直射日光や高温状態、雨水などによる水濡れは、変形・変退色・変質の原因となります。

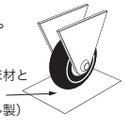
施工上のご注意

- 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量をご確認のうえ、施工を開始してください。同一床面上は同ロットで仕上げてください。
- フロアタイルや接着剤は施工時の温度に大変影響を受けやすく、低温時は特に接着剤の接着力が弱くなり完全接着までには時間がかかります。理想的な施工温度は15～25℃ですが、それよりも室温が低い場合はジェットヒーターなどの暖房機で現場を暖めるなどして、施工の前後12～24時間はこのような室温を保ち、フロアタイルも箱から出して現場と同様の室温に保管し、なじませる必要があります。室温と床材に温度差があると施工直後だけでなく、後日、目地隙、突き上げなどをおこすことがあります。
- タイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色差のように見えることがあります。
- 各商品別に施工上のご注意・接着剤等が異なりますので、商品掲載ページの施工上のご注意をご参照ください。また施工する場所の環境や下地の状態により、接着剤や施工方法が異なる場合があります。
- 下地は平滑かつ清潔で乾燥して、十分な強度があり、接着力を低下させるような構造的欠陥がないようにしてください。多孔質でもろい下地や粉っぽい下地はプライマー処理を行ってください。
- 不陸は適切なコンパウンドで補修してください。
- 木質系下地の目地部、凹み、釘頭部は適切なコンパウンドで補修してください。床材表面への継ぎ目段差や凹み跡の現出、釘に使用された防錆剤等により床材を変色させる恐れがあります。
- 木質下地に含まれる防虫剤や防腐剤により床材を変色させる場合があります。
- 鉱物ベースの下地（モルタル・コンクリートなど）で、新規あるいは土間床の場合は下地水分を測定してください。コンパウンドや接着剤は床仕上げ材と同様に適切な皮膜、もしくはその他の方法で高い残留水分や下地の湿気から遮断しておく必要があります。
- クッション性の大きな下地にフロアタイルを施工すると沈み込みによる段差や端部のめくれ、層間剥離などの不具合が生じる場合があります。
- 下地にワックス、グリス、油脂類、塗料などの汚れ、ペン、ラッカーによるマーキングなどが残っていると、接着不良や汚染、変色を発生させる可能性がありますので、完全に除去してください。
- 意匠上、タイルごとに色変化や濃淡差がある場合は、接着の前にフロアタイルを一旦仮置きして、色柄の偏りがないかご確認のうえ施工してください。また、狭小空間では、濃淡の差が強く見える場合があります。
- 接着の際は、床材の指定接着剤をご使用のうえ、接着剤指定のくし目ごてで均一に塗布し十分に圧着してください。
- 重量物の移動が想定される場合、下地水分グレードがⅠ（一般工法レベル）の場合でも、耐湿工法用接着剤をご使用ください。
- 有機溶剤を含んだ接着剤をご使用の際は火気にご注意のうえ、室内の換気を心がけ、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行ってください。有機溶剤は引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
- 床暖房下地の場合は、下地づくりから含めた施工上のご注意と接着剤のご選定が必要となります。
- コンパネ、二重床、塗床、タイルの重ね貼りなどの非吸水性下地にピールアップ工法以外で施工する場合は、耐湿工法用接着剤をご使用のうえ、接着剤の乾燥を促進させる必要があります。
- タイル同士に若干の寸法差が生じる場合があります。目地ずれが大きくならないうちに調整しながら施工してください。
- 施工中は他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止してください。
- 施工後、接着剤が十分硬化するまでは通行を制限し、直射日光や冷暖房などによる急激な温度変化や、重量物やキャスター椅子などによるしごきなどは避けてください。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので十分な養生期間をとってください。
- 施工直後に養生シートをご使用になった場合、フロアタイルと養生シートの間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、フロアタイルの反り・突き上げなどが生じる可能性があります。
  養生シートは、通気性のあるものを、接着剤が十分硬化してからご使用ください。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼り付けないでください。床材を汚染する原因となります。
- これらの施工条件が満たされない場合は、目地隙や突き上げ、膨れなどを招く可能性があります。これらは美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因となります。
- 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分してください。ビニル床材を燃やすと有害ガスが発生する場合があります。

床暖房下地に関する施工要領書はこちら

維持管理ならびに使用上のご注意

- 水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。泥よけマットの設置などで雨水や土砂の持ち込みを防ぎ、持ち込まれた際には即座に除去するようにしてください。フロアタイルの摩耗、キズつきを防ぎ美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。
- フロアタイルは熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けてください。
- 温風ヒーター吹き出し口にはマットを設置するなどして、温風が直接フロアタイル表面に当たることを避けてください。ホットカーペットなど暖房器具の熱が長時間にわたり加わると、変質や変色、突き上げや膨れの原因となります。
- 重量物や車輪のしごきによって、フロアタイルの表面を傷つけたり膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようにしてください。
- 長期間使用しない部屋では換気を心がけてください。結露を招き、カビや異臭の発生、フロアタイルの剥がれ・反り・膨れ・突き上げの可能性があります。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけてください。
- 接着剤が完全に硬化してから水のご使用をできるだけ抑えながら表面の汚れを洗浄し、乾燥した後に樹脂ワックスを塗布してください。洗浄が不足するとワックスとの密着性が悪くなる場合があります。
- 床材の汚れの多くは水拭きでとれます。ほうきや掃除機でゴミを取り除いた後に、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- トイレでご使用の際は汚れを放置すると尿素焼け等を起こす場合がありますので、こまめに掃除を行ってください。
- しつこい汚れは、クリーナーで除去し、固く絞ったモップなどで水拭きしてください。
- 竣工後は使用環境や汚れの状況に応じた日常の清掃・洗浄と定期的なワックスがけを行ってください。
- ドライメンテナンスを行う際はメンテナンス業者にお問い合わせください。
- 長時間直射日光があたる場所では変退色や突き上げを招く可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。
- 家具やハイヒール等の局部荷重により凹み跡が残る場合があります。
- インクやソース、化学薬品などをこぼしたときは、すぐに濡れたぞうきんで拭き取ってください。
- 化学薬品や強い作用をもつ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く場合があります。
- 水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、床材自体の変質・変退色や、施工後の反り・膨れ・剥がれ・目地隙などがおこる場合があります。維持管理には十分ご注意ください。
- タイルの剥がれ・反り・膨れ・割れなどが生じた場合、即座に補修してください。
  放置しておくと全体に影響が及び、美観を損なうほか転倒事故の原因となります。
- ゴム製品に含まれる老化防止剤、家具の塗料や防腐剤・防虫剤・防蟻剤によって、床材が汚染され変退色する可能性があります。
  ご使用を避けるか、床に直接ふれないようにしてください。



タイヤ等のゴム製品が床材と接する際は保護シート（アルミ製・ポリエステル製）をご使用ください。

左官タイル Kotehada[コテハダ]のご注意

- Kotehada[コテハダ]（OT5401～OT5407）の商品特性、施工上の注意につきましては、P.6もご参照ください。

旧→新 対照表

旧品番	新品番	旧品番	新品番	旧品番	新品番
OT-4301	OT4401	OT-5309	OT5419	OT-5330	OT5429
OT-4302	OT4402	OT-5311	OT5432	OT-5333	OT5478
OT-4303	OT4403	OT-5312	OT5433	OT-5334	OT5479
OT-4304	OT4404	OT-5313	OT5434	OT-5335	OT5468
OT-4306	OT4405	OT-5314	OT5435	OT-5336	OT5470
OT-4307	OT4406	OT-5315	OT5441	OT-5337	OT5469
OT-4308	OT4407	OT-5316	OT5442	OT-5338	OT5480
OT-4309	OT4408	OT-5317	OT5420	OT-5339	OT5481
OT-4315	OT4409	OT-5318	OT5421	OT-5340	OT5455
OT-4316	OT4411	OT-5319	OT5438	OT-5341	OT5457
OT-4317	OT4410	OT-5320	OT5439	OT-5342	OT5456
OT-4318	OT4412	OT-5321	OT5440	OT-5345	OT5452
OT-4319	OT4413	OT-5323	OT5443	OT-5346	OT5454
OT-4320	OT4414	OT-5324	OT5444	OT-5347	OT5453
OT-4321	OT4415	OT-5325	OT5445	OT-5348	OT5476
OT-4322	OT4416	OT-5327	OT5424	OT-5349	OT5477
OT-4328	OT4417	OT-5328	OT5425	OT-5352	OT5482
OT-5307	OT5418	OT-5329	OT5428		

（注）旧品番で対照表に番号がないものは廃番となります。

下地水分の測定と判断基準について

ビニル系床材は下地との接着力が耐久性や他の諸性能に大きな影響を与えます。そのため施工前の下地水分の確認とそれに応じた接着剤の選定が重要です。その判断基準として高周波静電容量式水分計「HI-540」に備えられているDモードの表示値を用いたグレード分け（下表）を施工方法の目安としておすすめいたします。

グレード	表示値	従来の下地水分指標	施工方法目安
Ⅰ	440未満	8%未満	一般工法
Ⅱa	440以上　620未満	8%以上　10%未満	耐湿工法推奨
Ⅱb	620以上	10%以上	施工不可

表示値は静電容量に一次相関のある単位のない数値です。

下地：コンクリート・モルタル
セルフレベリング材
水分計：HI-540（選択）Dモード
設定条件：（厚さ）40mm（温度）AUTO

グリーン購入法適応商品

グリーン購入法※適応商品について

2006年2月、ビニル系床材がグリーン購入法の「特定調達品目」に認定されました。再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されたものがグリーン購入法適応商品となります。

※グリーン購入法とは 2001年4月より施行された「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」です。国や独立行政法人等の各機関が物品等を調達する際には、価格や品質に加え、環境負荷の低減を考慮した物品購入を推進することが義務づけられました。また、地方公共団体・事業者・国民等についても環境物品等の調達を推進することが推奨されています。

OFFICE & RETAIL FLOOR TILE CATALOG VOL.11



sangetsu www.sangetsu.co.jp

事業所一覧は
こちらより
ご確認いただけます

sangetsu design site

FLAGSHIP サンゲツ品川ショールーム
サンゲツ名古屋ショールーム
サンゲツ大阪ショールーム
サンゲツ福岡ショールーム

sangetsu design studio

サンゲツ仙台ショールーム
サンゲツ金沢ショールーム
サンゲツ広島ショールーム
サンゲツ沖縄ショールーム

全国のショールームは
こちらより
ご確認いただけます

見本帳について

- 掲載商品の価格および仕様は、当見本帳発行時（2026年11月）のものです。経済変動、品質の改善により、価格および仕様の変更をさせていただく場合があります。また、やむを得ない理由により、見本帳有効期間中に掲載商品の販売を停止させていただく場合があります。ご注文の際は、販売店あるいは弊社営業窓口にご確認いただきますようお願い申し上げます。
- 現品見本や見本帳写真と商品が若干異なる場合がありますのでご了承ください。
- 当見本帳に記載されている各種試験データは測定値であり、保証値ではありませんのでご了承ください。
- 当見本帳に掲載している商品および写真等を許可なく複製、転載することを固くお断りいたします。
- 海外生産品は、各商品の梱包ケースに原産国が表記してあります。
- 表示価格は標準材料価格であり、消費税は含まれておりません。

見本帳の廃棄に関するお願い

不要となった見本帳につきましては、しかるべき資格を有する産業廃棄物処理業者に直接廃棄を委託していただきますようお願い申し上げます。

Re:USE
エコ活動にご協力をお願いいたします。
ご利用後のカタログの再使用をお願いいたします。

発行日／2026年11月
発行所／株式会社サンゲツ　有効期限／2029年11月
＊見本帳の有効期限は、都合により変更する場合がありますのでご了承ください。